

# 緑のまち

第48号

令和4年11月30日発行

公益財団法人日野市環境緑化協会

〒191-0016 日野市神明2-13-1

☎042-585-4740

<https://www.hinoryokka.org/>



## 白多摩

## 黄多摩

日野市環境緑化協会

だけが継承している

菊の貴重品種

品種の説明は8ページの編集後記にあります。  
ご参照ください。



理事長あいさつ



尾崎 義昭

日野市民の皆様にはコロナ禍において苦しい市民生活が続いてしまったことと思いますが、少しずつですが日常を取り戻しつつ、日野市内の公園や雑木林や街路樹の木々も紅葉の季節となり、秋から冬支度へと移り変わりを感じる季節となりました。

当協会は、日野市における都市環境の向上を図るため、都市の緑化を推進し緑と清流を守り、うるおい豊かな都市づくりに寄与することを目的としている公益財団法人です。花や緑は日野市民の皆様への心を癒し、明日への活力につながることで職員一同一丸となり事業を進めております。

緑化協会が行っている事業としては、花壇への花卉植付け、緑のリサイクル、花の交流広場、庭木の手入れ講習会、菊花コンテスト、緑の作文集、緑の写真展、市内の落ち葉の腐葉土肥料の販売、市内公園公共施設への花の植え付け、市内公園の緑の維持管理などを行っておりますが、昨年引き続き新型コロナウイルス感染症拡大により、日野市環境緑化協会の事業も中止や規模縮小を余儀なくされてしまいました。今年度からは感染防止対策を実施し、三密回避が可能な事業から少しずつ動き始めました。

この「緑のまち」では、当協会の事業を紹介させていただきました。日野市に緑がうるおい、豊かな都市へと発展し、花と緑が市民の心を癒し、少しでも市民の皆様へ活力がふれることを職員一同引き続き目指してまいります。

むすびに、コロナ禍においても市民の皆様から当協会へ変わらぬご協力ご支援をいただきましたことへ御礼申し上げます。



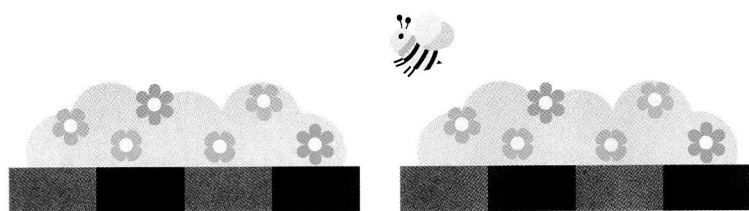
## 令和3年度 決算

収 益	基本財産運用益	145,000円
	事業収益	22,917,725円
	受取補助金等	20,383,204円
	受取寄付金	3,120円
	雑収益	77円
経常収益計		43,449,126円
費用	事業費	38,453,886円
	管理費	4,996,079円
経常費用計		43,449,965円

## 令和4年度 予算

収 益	基本財産運用益	140,000円
	事業収益	22,909,000円
	受取補助金等	22,386,000円
	受取寄付金	1,000円
	雑収益	2,000円
経常収益計		45,438,000円
費用	事業費	40,363,488円
	管理費	5,074,512円
経常費用計		45,438,000円

「事業計画書・予算書」「事業報告書・決算書」については、緑化協会ホームページをご覧ください。緑化協会事務所に備え付けてありますので、お気軽にお越しください。



## 腐葉土・肥料 販売

緑化協会職員が公園の落ち葉を利用して作った腐葉土は、基準に基づき適正に出荷・販売しています。

また（有機）乾燥肥料や（化成）固形肥料も販売していますので、是非ご利用ください。

〈販売場所・時間〉 緑化協会事務所：平日 8：30～17：15

〈価 格〉 腐葉土 ……（44ℓ）800円、（20ℓ）400円、（4ℓ）100円  
乾燥肥料 ……（400g）100円  
固形肥料 ……（160g）30円

\*配達については、ご相談ください。

\*数に限りがあるので、1回の購入には数量制限があります。ご理解とご協力をお願いします。

## 緑の募金

今年も4月～5月を強化月間として取り組んだ「緑の募金」は、東京緑化推進委員会に納入して森林整備等の事業に使用されるほか、一部は当協会にも還元されて、市内の花壇に四季の花々を植付けるなど、多くの場面で役立っています。

令和4年度募金総額（9月末現在）

**1,465,250円**

皆さまの御協力ありがとうございました。

## 役員名簿

（順不同）

理事長	尾崎 義昭
副理事長	国分 知子
常務理事	福田 博保
理事	志村 進一
理事	宗 昌枝
理事	石坂 昌子
理事	坂田 勉
理事	小平 裕明
監事	渡辺 良勝
監事	榎本 数隆

任期：令和4年6月16日～令和6年度定時評議員会終結時

評議員	奥住 日出男
評議員	橋本 栄萬
評議員	井上 敏夫
評議員	加納 秀一
評議員	奥住 登

任期：令和2年6月18日～令和6年度定時評議員会終結時



# 令和4年度事業実績 (その1)

## 緑のリサイクル

ご家庭で増えすぎた植物をご提供いただき、愛好家の方へ配布する人気のイベントです。

今年度は、37名の方々に、約177種 1,162点もご提供いただきました。

また、4月23日(土)の配布当日には、腐葉土、肥料の販売や、協会職員が植物の育て方などにお答えする「花と緑の健康相談」も行いました。



## 子ども昆虫教室

夏休み前の7月9日(土)に、昆虫にとっても詳しい先生方をお迎えし、虫採り道具の使い方のお話や、昆虫の動画観賞、珍しい生きた昆虫の観察などを行いました。その後、「神明野鳥の森公園」に昆虫の観察・採集に出かけました。



今年はいろいろな昆虫に出会い、夏の楽しい思い出作りができました。

## 菊の育て方講習会と菊苗の無料配布

7月から8月に、日野の市花である菊の普及と、秋に開催する菊花コンテストへ参加していただくため、一般市民、小学校などの市内施設、老人クラブへ合計約6,000本の菊苗を無料配布しました。

また、配布に先立ち、日野市菊友会より講師を迎え、7月22日(金)に大菊の育て方講習会、8月5日(金)には、ポットマム・スプレー菊の育て方講習会を実施しました。

## 庭木の手入れ講習会

日野緑進会より講師を迎え、剪定方法や病害虫対策など、庭木の基本的な管理方法を学ぶ人気の講習会です。

今年も10月7日(金)に実施しました。

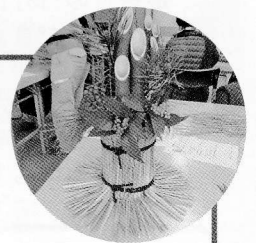


# 令和4年度 今後の事業予定

## 稲わら・竹細工講習会

地元の農家の方のご好意で分けていただいた温かみのある稲わらや、市内の緑地で育った竹を使った、お正月用のミニ門松を作る講習会です。協会職員が丁寧に指導させていただきます。

**開催日** 令和4年12月16日(金)



## 緑の写真展

テーマに合った作品であれば市内のどなたでもご参加いただけます。

**テーマ** ①日野の四季 ②わが家の緑

**応募締切** 令和4年12月23日(金)

**展示期間** 令和5年1月10日(火)～20日(金)

**展示場所** 日野市役所 市民ホール

## 緑化講習会

知っているようで知らなかった日からウロコの知識が満載です!

**\*春の草花・家庭果樹の管理講習会**

**開催予定日**

令和5年2月3日(金)

※広報ひの1月号掲載予定

**\*ガーデニング講習会**

**開催予定日**

令和5年3月3日(金)

※広報ひの2月号掲載予定



## スプリングフェスタひの

ステージ演目や模擬店があり、桜の時期の人気のイベントです。

**開催予定日**

令和5年3月25日(土)～26日(日)

※広報ひの3月号掲載予定

中止した事業：ガーデニングコンテスト&写真展(4月～5月)



## 令和4年度事業実績 (その2)

# 菊花コンテスト



▲市民一般の部 市長賞(大菊)

日野市の花である「菊」の普及のため、緑化協会では菊花事業に取り組んでいます。中でも夏から本格始動する「菊花コンテスト」は、一般市民を始め、小学校、老人クラス、また後援団体のご協力のもと、長い間実施してきました。

今年度は、菊花コンテストの流れを少し詳しくご紹介させていただきます。

### 会場設営と出品鉢の搬入

10月下旬～11月上旬にかけて、出品作品を展示するためのテント設営を行います。丹精込めて育てていただいた菊達の仮住まいです。強風で倒れないよう…来場して下さった方が見やすいよう…注意しながら設営します。飾り布や看板を取り付けたら完了！次は今年度の出品作品の搬入を行います。車両での運搬時、折れやすい菊の枝に細心の注意を払いながら運びました。

### 審査～展示

11月4日(金)午前9時から、専門家による審査を行い11月16日(水)まで展示しました。事務局は参加して下さった方が準備や植付けの頃からお話を伺い、大変なご努力をしてくださっているのを承知しているので、つつい審査に口を出してしまいそうになりますが、公平を期すためじっと審査を見守ります。

審査は、花の咲き具合、ピンチによって枝数が増えているか、病害虫の有無などの項目による比較審査です。入賞された個人や団体には、事務局からお電話でお知らせしています。また、入賞作品には賞名プレートをつけて展示させていただきました。



▼審査



▲出品鉢搬入

### 表彰式

最終日の11月16日(水)午後3時より、下記のそれぞれの部門で入賞された方々にご出席いただき表彰式を行いました。賞状は、後援団体にご臨席いただき、感染症対策に留意しながら直接お渡しさせていただきました。

翌日には、まだまだ見頃の菊を全出品者の方々へお返ししました。

今年度も多くの方々のご協力で、たくさんの菊を展示することができ、この場を借りてお礼を申し上げます。



▲市民一般の部 市長賞(スプレー)

### 応募総数

●市民一般の部 29名 42鉢 ●老人クラブの部 9団体 86鉢 ●小学校の部 14校 140鉢

### 令和4年度 配布苗菊花コンテスト受賞者一覧

(敬称略)

賞名	市民一般の部			老人クラブの部	小学校の部
	ポットマムの部	スプレー菊の部	大菊の部		
日野市長賞	菊地 邦雄	前澤扶久子	菊地 邦雄	親和会	東光寺小学校
日野市議会議長賞	前澤扶久子	菊地 邦雄		豊寿会	七生緑小学校
日野市教育委員会 教育長賞					滝合小学校
(公財)日野市環境 緑化協会理事長賞	船木ます子	田中 弘	吉井 勝三	桜の会	旭が丘小学校
日野市老人クラブ 連合会会長賞				久和の美会	
日野市菊友会会長賞	山鼻 茂子	河合美代子			
東京南農業協同組合 代表理事組合長賞	田中 弘	三田 晴通		茶の間会	



▲老人クラブの部 市長賞



▲小学校の部 市長賞



# ガーデニング講座

## ～肥料の基礎知識編～

今回は、肥料の基礎を学んでみましょう。なぜ肥料が必要なのでしょう？自然界では落ち葉や枯れた植物、草食動物の糞、昆虫の死骸などが、微生物の働きで分解され、再利用されるサイクルが確立されています。しかし、庭や鉢では自然界のサイクルが断ち切られている状態であるため、養分を探しにいけません。野生植物は少量の養分で生育しますが、花や実を大きくしたり、増やすなどの品種改良された園芸植物は多量の養分を必要とします。長くきれいに花が咲くように、肥料で養分を補ってあげましょう！！



### 肥料の基礎知識

植物に必要な養分（必須元素）は16種類。その必要な養分の中でも、土壤中で不足しやすく、しかも植物がもっとも必要とするのは「窒素・リン酸・カリウム」で、「肥料の三要素」とも呼ばれています。

必須元素の16種類は下記の13要素に炭素、酸素、水素を加えたものです。

	元 素	働 き	欠乏症状
三要素	窒素	茎葉や根など育成させる糖分の吸収を促進。同化作用の促進。	生育不良。葉が小さくなる。緑色が薄くなり、葉が薄黄色になる。
	リン酸	茎葉や根の伸長を助け、開花や結実を促進。	着花数が少なくなる。開花や結実が遅れる。葉が小さくなる。根の伸長が悪くなる。
	カリウム	葉、茎、根の発育促進。植物全体の生理作用の調整。病気に対する抵抗力を強化する。	病害虫被害を受けやすくなったり、株が倒れやすくなる。果実の外見や色が悪くなる。
中量要素	カルシウム	植物体を丈夫にする。	新しい葉の先や緑から黄色になり枯れる。
	マグネシウム	リン酸の吸収や植物体内の移動を助ける。	下葉の緑や葉脈の間が黄変する。
	イオウ	根の発達や植物体内のいろいろな作用を助ける。	生育不良。古い葉が黄変する。
微量要素	鉄 亜鉛 マンガン 塩素 銅 モリブデン ほう酸	活力剤。 ※人間でいうとビタミンに相当する	葉の黄変、褐色、白色化、わん曲、変形する等。

### 肥料の種類

肥料の種類は有機肥料と無機肥料に大きく分類されます。さらに、目的や原料、形、効果が続く期間によって、種類は分かれます。それぞれの特徴を知り、目的にあった肥料を選びましょう。

種 類	品 目 → 製 法 → 内 容	特 徴
有機質肥料 (原料が動植物由来)	①油かす → 絞る → 窒素 ②発酵油かす → 発酵 → ほぼ同量 ③骨粉 → 粉碎 → リン酸 ④鶏糞 → 乾燥 → リン酸・カリ ⑤草木灰 → 燃やす → カリ	分解してから吸収。効き方が遅い。 ゆっくり長く効果が続く。分解の過程で臭気を発生。微量元素を含む。
無機質肥料 (化学合成)	硫酸・過リン酸石灰・硫酸カリ	手が汚れない。臭気がない。すぐに効果が出る。使用量がわかりやすい。必要以上に多いと濃度障害。
石灰質肥料	石灰・消石灰・苦土石灰・有機石灰	酸度調整。アルカリにする。

### 肥料の効き方

肥料には肥効期間によっても3つの種類があり、それぞれ目的によって使い分けます。

	種 類	効き方	使い方
即効性肥料	一般の化成肥料や液体肥料等	すぐに効くが持続効果が短い	追肥として定期的に施す
緩効性肥料	化成肥料を樹脂などで覆ったり、錠剤や粒剤のように固形化	施したときから効き始め、ゆっくり長く効果持続する。	元肥にも追肥にも使える
遅効性肥料	主に有機質がベース	効き方が遅い	元肥として

### 肥料の施し方

- **元 肥** → 植物を定置する前後に施す肥料。土壤に均一に混合する、植付け後に土の表面にばらまき、すじまき又は局部的に置く置肥があります。
- **追 肥** → 栽培途中に、生育状態に応じて施す肥料。元肥同様、土壤の上から固形肥料を施す場合と液体肥料を施す場合があります。
- **お礼肥** → 植木、果樹などの永年作物に特有の肥料。お礼肥は果樹などの収穫後に施す追肥の一種です。樹体の消耗をおさえ、翌年の生育に向けてエネルギーを与えます。
- **寒 肥** → 植木、果樹などの永年作物に特有の肥料。寒肥は暖かくなって生育が始まる前に施す肥料で、元肥の一種です。



# 作文集 「緑のまち」

市内の小学四年生と六年生を対象に作文を募集し二、三九六名の児童から応募がありました。この中から今年も七名の審査委員により入選作一、二編が選ばれ、カット五九作品と共に作文集を発行します。ここでは優秀賞の中から三作品と審査委員長の講評を掲載します。

## ぼくらは カワセミ探検隊

日野第五小学校  
四年二組 志賀 広望

ぼくが日野市にくらして十年。ぼくは、とんでもないことに気がついた。それは、日野市の鳥、カワセミを見たことがないことだ。調べてみると、カワセミが市の鳥になったのは昭和五十八年九月十二日。「鳥の宝石」とも呼ばれるほど美しいカワセミは、清流を好む鳥で、緑と清流のまちを目指す日野を象徴しているから選ばれたのだそうだ。

マンホールや橋にもカワセミがデザインされていて、建物の名前にもカワセミがついている。「カワセミを見たい。」

ぼくは両親に言った。すると、両親もカワセミを見たことがなく、見たいという気持ち一致した。そうして、ぼくたちのカワセミ探検隊プロジェクトが始まった。

初めに、インターネットで目撃情報を集めた。そして、動画や写真が撮られた場所に行ってみることにした。

一日目。百草園駅近くの程久保川。目撃情報が多く、期待大。コイやウグイなどの魚がたくさんいた。魚がいるということは

エサが多いということだが、カワセミは見られなかった。

二日目。栄町五丁目の谷地川。この川にはカルガモやムクドリなどの鳥がいた。カメやコイもいた。たくさんのハグロトンボが翅を休めていた。その時だ。「いたー!」

先に叫んだのは、お父さんだった。そして、ぼくも、お母さんも、みんな叫んだ。「いたー!」

ながめていた水面を、青い光を放った鳥が飛んだ。まちがいない。カワセミだ。

カワセミ探検隊プロジェクトは、たった二日で目的を達成した。幸運だった。そして、日野市が緑と清流のまちを目指す目標を継続するために環境を整えてくれるからだと思います。また会いに行こう。カワセミに。

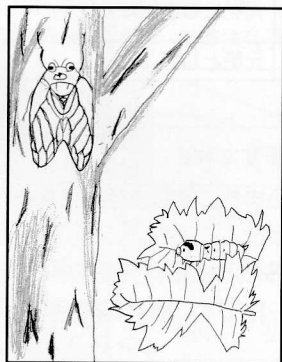


## 日野市の新名物

日野第六小学校  
六年三組 三本 理世

衣で姿がかくれていたので食べやすく、プリプリしていておいしかったです。からあげは、ほとんど衣がつかず、姿が丸見えで食べづらかったけれどおいしかったです。

今は虫を食べる機会はほとんどありませんが、虫は効率良くたんぱく質をとることができ、貴重な存在です。日野は昔、養蚕がさかんでした。仲田の森蚕糸公園には桑ハウスがあり、日野・八王子から横浜まで多摩のシルクロードがあったことを知りました。まゆから糸を取った後さなぎはいらなくなるので、昆虫食としてかいこを食べることができればたんぱく質がとれ、糸も取れ、まさに一石二鳥です。日野市にかいこや食用の昆虫を育てる場所を作り、育てたかいこや昆虫を学校の給食で食べ、日野市の名物にしたら良いのではと思います。



最近、新聞やテレビでSDGsの事をよく見かけます。沢山ある目標の中で自分にできることはなんだろうとよく考えています。その中で私は、二番目の目標「きがをゼロに」に興味をもちました。二五十年までに世界の人口は九十億人に達するそう、食料を現在の二倍に増やさなくてはならず、それをどうするかが問題になっていました。また、今は人が生きていくために必要なたんぱく質をぶたや牛などから取っていますが、それら以上にたんぱく質が豊富に含まれている虫を代わりに食べるということが紹介されました。それを両親に話したところ、両親も子どものころ、いなごを食べたことがあると言っていました。そこで私は、本当に食べられる虫がいるのか確かめたくなり、本で調べてから近所の公園でセミの幼虫を採ってきて、母に料理してもらいました。天ぷらは、



## 第一歩

日野第七小学校

六年二組 岩井 遼果

「鳥が羽ばたく瞬間」「鳥がえさを食べる瞬間」「鳥が羽を休める瞬間」その一つ一つの瞬間を私の祖父は写真におさめています。

私の祖父の趣味は、写真を撮ることです。いつもカメラを片手に、外を歩き、それぞれの瞬間を写真におさめています。それは、いつも「美しい日野の風景」です。私は幼い頃から、その写真を祖父に見せてもらってきました。

美しい夕日ときれいな川と鳥。自然豊かな森の中の木にとまる鳥。

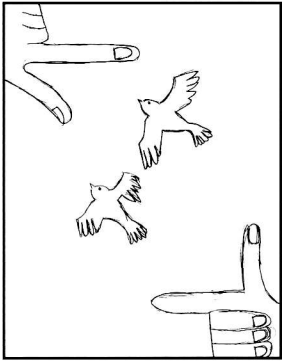
「わあきれい。」  
と思わず声が出てしまうこの景色が私が生まれ育った日野の景色であることをとてもうれしく思います。

祖父に聞くと日野市では約二百種類の鳥が生息すると言われているそうです。しかし祖父が実際に写真を撮ることができたのは現在百二十四種類。すずめ、シジュウカラ、ヒヨドリ、

ムクドリ、アオバズク、コミミズク、ハヤブサ、かわせみ……。いつも出会える鳥もいれば、なかなか出会うことのできない珍しい鳥もいるそうです。

私が毎日通っている通学路も、この六年間で、少しずつ自然が減り、道路や住宅に変わっていつています。それがいけないことだとは思いますが、そこで生息していた生き物や自然はどうなってしまうのだろうか、ふと考えることがあります。人間が住みやすい町が優先されて、鳥などの生き物が必要とする自然が壊されてしまっているのではないのでしょうか。人間と自然がどのように共存していけるか考えていくことが大切だと思います。

思わなければ気付かない鳥の姿や鳴き声。しかし意識するときれいな鳥、景色が広がります。当たり前ではない自然に気付くことがまずは第一歩なような気がします。



## 経験を振り返る

審査委員長

日野第四小学校 岡 田 達 明

日野市に赴任をしてから、「緑のまち」の作文集に携わってまいりましたが、こ

うして再び審査員として日野の子どもたちの作文が読めることをうれしく思います。

今年度の作文を読んでいて、「経験」ということがいかに子どもの心に影響を与えているか、ということに改めて感じさせられました。

担任を持つているクラスの子どもにしてもそうなのですが、豊かな経験をすると、それだけ文章に生きてくるとい

う実感があります。  
経験したことを文章に書く、という行為は、振り返りに当たる行為と考えられ

ます。文章に書くことで、よりその子にとっての経験は深まっていき、その後の

経験にも生かすことのできるものになっていくのだと思います。

何か生き物を飼ったり、何かを育てたりすると、すべてが計画通りに行く、ということとはなく、失敗することや、どうしてこうなるのだろうと、不思議に思う

ことが出てくるはずですが、そのときにどうするか、何を感じるかということがその子の心を育んでくれると思っています。計画や予定を立てることももちろん大切なのですが、目の前で起こっていることにどう対処

するか、ということも自然が与えてくれる大事な勉強だと思えます。

今回寄せられた作文にも、くず野菜を育ててみたという子や、親子でランニングをするので川の様子が分かったという子。自然を守る活動を行っている子。いきいきと自分たちの経験を振り返っていて、姿が目に見え、浮かぶようでした。

これからもこの「緑のまち」が続いていき、少しでも多くの子にとって、やっとなかなかと勇気づけられるような存在であってほしいと願っています。



## 日野台公園

令和元年（2019年）7月にリニューアルオープンした広場が中心の開放的な公園です。日野自動車（株）の西側に位置し、最寄り駅はJR中央線 豊田駅（徒歩20分）JR八高線 北八王子駅（徒歩17分）で、日野市民だけでなく、様々な地域の方に利用されています。ブランコや末広がり滑り台などの複合遊具で遊ぶ家族連れや外周ウォーキングや健康遊具を楽しむお年寄りまで幅広い世代の方々が楽しむことができます。この公園を長年清掃してくださっているのは日野台4丁目と5丁目の自治会の皆さんです。月2回の活動日にはお子様から年配の方々まで45人位参加され、開始の合図と同時に速やかに各持ち場にいき、黙々と熱心に作業されていました。「自治会の公園は自分達できれいにしよう！」という理念に基づいた地元愛がこの先も自然と育まれていくのでしょうか。



公

園

紹

介

園気が生まれるのだと思います。下耕地公園他、日野市内の4つの公園も担当していただき、本当にありがとうございます。

## 下耕地公園

都営日野平山アパート、平山中学校の並びにある公園です。すぐそばを京王線が走っているの、電車を見ながら遊具で遊ぶことができる電車好きのお子さまにはワクワクする遊び場ではないでしょうか。この公園は、社会福祉法人の生活支援員とその利用者5～6人の方々が清掃してくださっています。皆さん、公園周りの落ち葉掃きから、集めた落葉や藤棚剪定した枝を袋に入れたり、草を引き抜いたりと熱心に清掃活動に取り組んでいる姿がとても印象的で素敵でした。清掃中に、保育園の子ども達が遊びにくるよ！ってお話を聞きました。一生懸命きれいに清掃してくださっている公園には、きっと沢山の人が集い、良い雰



## 取材日記

8月下旬～9月初旬の残暑の中、2つの愛護会を取材させていただきました。毎年、公園愛護会の皆さまの笑顔にお会いするのがとても楽しい私です。「地域のために！人のために！」と惜しみなくボランティア活動に携わってくださる皆さんは、地域貢献の意識が高く、エネルギーで素敵だなと思います。日野市の環境維持・向上のために、少しずつではありますが、皆さんに近づけるようにと私自身も頑張りたいと思っています。

2019年12月初旬に発生した新型コロナウイルス感染症が大流行し、人に会うことが難しくなりました。コロナ社会により、人と人とのつながりの大切さを身に染みて感じるようになりました。取材の中で、月2回の清掃の場が人に会う良い機会になり、重要な役目を果たしてくれていると教えていただきました。コロナの終末にはまだまだ時間がかかりそうですので、コロナと上手く付き合いながら、充実した楽しい毎日を過ごしたいですね！！

## 編集後記



表紙を飾る「白多摩・黄多摩」は、東京都農業試験場の故橋本貞夫先生が改良したもので、1964年開催の東京オリンピックの聖火台やマラソンコースの沿道を、また1978年日中国交正常化の会場を菊の花で華やかに飾りました。

このように日本の歴史的イベントを彩ってきた「白多摩黄多摩」ですが、現在ではこの「白多摩黄多摩」を継承して栽培・普及させているのは日野市環境緑化協会だけであり貴重な品種となっています。（東京都農林総合研究センターも少量栽培）

環境緑化協会では「白多摩黄多摩」を後世に引き継いでいくために毎年、育苗から栽培し、市内小中学校や各公共施設に展示しています。10月中旬頃には、鮮やかに白と黄色の花を咲かせてみなさんに楽しんでいただけたと思います。【H・F】

## 市民ボランティア募集中!

お花に興味がある方、  
日野市内の公園等の  
植付けにご協力頂けませんか？

緑化協会では季節ごとに公園や駅など沢山の公共施設の花壇やプランターにお花を植付けしています。植付けや水やり、草取りをお手伝いして下さる方をお待ちしております。花卉は緑化協会でご支給します。植付け場所や時期などお気軽にご相談ください!!

☎ 585-4740